

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算 支出科目 款：民生費 項：社会福祉費 目：老人福祉費

事業名 高齢者補聴器購入費助成事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 高齢福祉課 介護保険者係 電話番号：058-272-1111 (内 2598)

E-mail: c11215@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 8,100 千円 (前年度予算額：0 千円)

<財源内訳>

| 区 分 | 事業費 | 財 源 内 訳 | | | | | | | |
|-----|-------|------------|------------|------------|----------|-----|-----|-----|------------|
| | | 国 庫 支出金 | 分担金 負担金 | 使用料 手数料 | 財産 収入 | 寄附金 | その他 | 県 債 | 一 般 財 源 |
| 前年度 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 要求額 | 8,100 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 8,100 |
| 決定額 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

障害者総合支援法に基づく補装具費支給制度の対象外となっている中等度難聴の高齢者に対して、補聴器装用による聴力の向上やコミュニケーション能力の向上による社会参加の機会維持を促すことで、閉じこもりや孤立を防ぎ、認知症予防やフレイル予防につなげるとともに、コロナ禍により、通いの場等が休止・閉鎖されたこと等から高齢者の外出機会が減り、外部とのコミュニケーションが減少し、さらにマスク着用が常態化したことで、口元が見えないことから聞こえに影響していることから、補聴器の購入に要する費用の一部について、市町村を通じて助成を行う。

(2) 事業内容

・助成対象者 (案)

次の要件をすべて満たす高齢者

- 1 県内在住者である
- 2 両耳の聴力が 40 dB 以上 70 dB 未満である
- 3 身体障害者手帳の交付対象でない 等

- ・基準額（案）
補助上限額 20,000 円／人

(3) 県負担・補助率の考え方

県 1 / 4、市町村 1 / 4、利用者 1 / 2

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

| 事業内容 | 金額 | 事業内容の詳細 |
|------|-------|-------------------------|
| 補助金 | 8,100 | 市町村が実施する補聴器購入費助成に係る県負担分 |
| 合計 | 8,100 | |

決定額の考え方

事業内容を精査し、計上を見送ります。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

なし

(2) 国・他県の状況

都道府県の状況は東京都が市区町村に対して間接補助金として実施している。

(3) 後年度の財政負担

高齢者は今後も増加していく中で、高齢者の閉じこもりや孤立の防止、フレイル予防、認知症予防は重要な課題である。

国へ補聴器購入費用の補助制度創設を要望していくとともに、各種研修等を通じて、市町村における介護予防事業を支援していく。

(4) 事業主体及びその妥当性

市町村支援として県が間接補助として実施することは妥当である。

事業評価調書（県単独補助金除く）

| |
|--|
| <input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業 |
| <input type="checkbox"/> 継続要求事業 |

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 身体障害者手帳の交付の対象とならない中等度難聴の高齢者が、早期から補聴器を使用することにより、閉じこもりや孤立を防ぎ、積極的に社会参加できるようにする。

（目標の達成度を示す指標と実績）

| 指標名 | 事業開始前 | R2年度 | R3年度 | R4年度 | 終期目標 | 達成率 |
|----------|-------|------|------|------|------|-----|
| | (R) | 実績 | 目標 | 目標 | (R) | |
| ① 補助市町村数 | 0 | 0 | 0 | 12 | 24 | —% |
| ② | | | | | | % |

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

| | |
|-------|----------------------------|
| 令和2年度 | |
| 令和3年度 | 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___% |
| 令和4年度 | 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___% |

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

| | |
|--|---|
| <p>・事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</p> | |
| <p>(評価) 3</p> | <p>コロナ禍により、通いの場等が休止・閉鎖されたこと等で高齢者が外出する機会が減り、外部とのコミュニケーションが減少した。さらに、マスク着用が常態化したことで、口元が見えないことから聞こえに影響している。</p> |
| <p>・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</p> | |
| <p>(評価)</p> | |
| <p>・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</p> | |
| <p>(評価)</p> | |

(今後の課題)

| |
|----------------------------|
| <p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項</p> |
|----------------------------|

(次年度の方向性)

| |
|---|
| <p>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか</p> |
|---|

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

| | |
|-------------------------------|--------------|
| <p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p> | |
| <p>組み合わせる理由や期待する効果 など</p> | <p>【〇〇課】</p> |